

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成28年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立大宮北特別支援学校		Bグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援教育の趣旨や特性、グランドデザインを踏まえ、目指す学校像が設定されている。センター的機能など学校に寄せられる地域からの期待やニーズに十分応え、更に学校の特色や強みを生かしたものとなるよう工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	中期的な視点に立ち、学校の取り組むべき課題が具体的に示されたものとなっている。目指す学校像の実現に向けて概ね適切なものとなっているが、学校の置かれた状況などを広く把握した上で、更に検討を進めると良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学部のシートが学校全体のシートと緊密に連鎖し、より具体的な目標や方策が分掌等のシートに現れるように、職員会議等で目標の連鎖について共通理解を図っている。分掌・学部で検討された方策等を再び学校全体のシートへフィードバックして取組を学校全体に広げるなど工夫ができると良い。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	指導内容表を有効に活用した教育支援プランの作成など、学校全体のシートに基づいた方策が分掌・学部で策定され、組織的に実施されている。評価指標が方策の達成状況の評価するものとは必ずしもなっていないため、教職員間で達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は目標の連鎖について丁寧に説明し、共通理解を図るなど、学校自己評価システムを活用した学校運営に取り組んでいる。「教室の窓から(校長通信)」を発行し、専門性向上に役立つ情報等を発信するなど、教職員一人一人を的確に生かし、学校全体の組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。課題や次年度への改善策を明らかにするための質問項目を設定するなどアンケートを工夫し、結果を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			